

教科 外国語 科

科目	英語コミュニケーションⅡ	学年・コース	2 学年	地域政策情報	コース	単位数	3 単位	区分	必修
学習の目標	身近な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、理解したものを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。								
教科書	COMET English Communication Ⅱ (数研出版)								
補助教材等	ベーシックノート、ワークブック、辞書								
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間	
1	4	Lesson 1 Places worth visiting			「want＋人＋to不定詞」 行ってみたい場所を英語で紹介する。			29	
	5	Lesson 2 Iwago Mitsuaki: animal photographer			「疑問詞＋to不定詞」 好きな写真を英語で紹介する。				
	6	Lesson 3 The Haka			「分詞」 世界の文化を英語で紹介する。				
2	7	Lesson 4 Digital detox			「if節・疑問詞節」 デジタル機器との関わり方について、自分の考えを英語で述べる。			44	
	8	Lesson 5 Goal setting			「seem」 目標を英語で述べる。				
	9	Lesson 6 The high school hair salon			「助動詞＋have＋過去分詞」 就きたい職業を英語で述べる。				
	10	Lesson 7 You can make a difference			「過去完了形」 環境のためにできることを英語で述べる。				
	11	Lesson 8 Nudge			「関係代名詞what」 身の回りの問題の解決策や工夫を英語で述べる。				
3	12	Lesson 9 The father of braille blocks			「関係副詞」 誰もが暮らしやすい社会について英語で述べる。			32	
	1	Lesson 10 Do we need that?			「使役動詞」 必要・不要だと思うサービスを英語で述べる。				
	2	Lesson 11 The Vancouver Asahi			「知覚動詞」 人権の問題について英語で述べる。				
	3	Lesson 12 From small companies to the world			「仮定法」 日本で開発・改良された優れた製品を英語で紹介する。				

評価の観点	知識・技能	テキストの内容、語彙、文法など授業で学んだことの理解や、技能を定期テスト及び学期ごとに4技能のテストを実施し、評価する。
	思考・判断・表現	英語で意見交換をしたりライティング活動を通してアウトプットができるかを評価する。スピーキングテストやパフォーマンステストも随時行い、評価する。
	主体的に学習に取り組む態度	授業での取り組み、課題の提出状況、授業内の小テストの結果等を総合的に判断する。